

「マイブーム旭山動物園」

～ 夢を実現した復活プロジェクト ～

先日、アマゾン (通信販売) からオーダーしていた旭山動物園の本が届きました。
さっそく1冊読んでみました。
経営、組織論のヒントがいっぱいでした。

その著書

旭山動物園革命 ～ 夢を実現した復活プロジェクト
小菅正夫 (旭山動物園長) 角川書店 724円

本の一部分をご紹介します。

動物も人間も「自分らしさ」が大切

こうしたそれぞれの動物の持つもっとも特徴的な動きなどを見せる展示の仕方を、「行動展示」と名付けた。参考の為に記すと、動物の姿形で分類して、おもに檻に入れて展示するという従来からある展示方法を「形態展示」、動物の生息環境を園内最大限再現して展示する方法を「生態的展示」と呼ぶ。

私たちは、動物それぞれの能力を発揮できる行動展示を行なうことで、動物がイキイキすることを、飼育する中で確認してきた。なぜわかるかと言えば、長く飼育を担当し、様子をつぶさに観察していると彼らの感情が手に取るようにわかるようになるのだ。

また、イキイキする動物をみることで、人間の側も嬉しくなり、元気になることも、入園者の声を聞いたリ表情を見ていてわかった。

野生動物と向き合い、園長として動物園のスタッフをみていて思うのは、動物も人間も「自分らしさ」を発揮できる環境はなにものにも替え難いということである。

おそらく企業など人間の組織でも同じことが言えるのではないか。

会社でもそれぞれの人の得意分野によって仕事が割り振られ、イキイキした社員がたくさん活躍する会社になれば、組織が活性化する。反対に光り輝く社員が少なくなると、会社自体に活気がなくなる。

動物を顧客。スタッフを社員。園長を社長に置き換えると企業組織と同じですね。

「いきいき出来るような環境を創ること」それがリーダーの役目なんじゃないかな。

<コメント>

理想の姿「行動展示」・・・あいたいビジョン・・・を達成するに為には？

自分は何が、どんなことが出来るのか？

そして動物 (相手) の立場、視点に立って考えてみる。

自分の得意分野の中で、自分の出来ることをやってみる。・・・それが自分らしさ

少しずつ行動してみる。確認、チェックする。そして又、前進。

「精え！ 狙え！ 撃て！」が今までのやり方。

これからは、「撃て！ 狙え！ 撃て！」が必要なんですね。

あの日露戦争日本海大海戦のT字戦法の勝利の方程式。